

3 需要と供給

都内生産額は159兆1012億円であり、これに輸入額6兆3807億円を加えた165兆4819億円が東京都財の総供給である。

総供給は総需要と等しく、総需要の55.8%(92兆2594億円)は中間需要で、44.2%(73兆2225億円)が最終需要である(図3-1)。

東京都財の総需要165兆4819億円のうち55.8%(92兆2594億円)は、各産業で原材料・中間財として使用された中間需要である。

総需要から中間需要を除いたものは最終需要である。最終需要は東京都では総需要の44.2%であるのに対し、全国では54.9%と東京都の方が10.7ポイント低い。項目別構成比を全国と比較すると、民間消費、投資及び在庫純増、輸出では東京都の方が全国より低い(図3-1、3-2)。

次に、都内生産活動への生産要素の投入構造をみると、都内生産額159兆1012億円の44.1%(70兆2277億円)が財・サービスなどの中間投入である。この中間投入70兆2277億円のうち45兆3569億円(都内生産額の28.5%)は東京都で生産された財・サービスの投入で、24兆8709億円(都内生産額の15.6%)がその他地域の財・サービスの投入となっている(図1)。粗付加価値(家計外消費、雇用者所得等)は生産額の55.9%を占め、全国の粗付加価値が生産額に占める割合52.4%より3.5ポイント高い。

投入比率の内訳を産業平均でみると、生産額に対する雇用者所得の割合は、東京都が33.7%に対し全国は28.2%と、5.5ポイント東京都の方が高い(図3-3、3-4)。

【注1】 総需要

中間需要及び最終需要の合計をいう。東京都総需要は、東京都財に対する中間需要及び最終需要の合計である。

【注2】 総供給

生産額と輸入額の合計であり、総需要に等しい。東京都総供給は、東京都総需要に対応する。

図3 - 1 需要項目構成比(東京都)

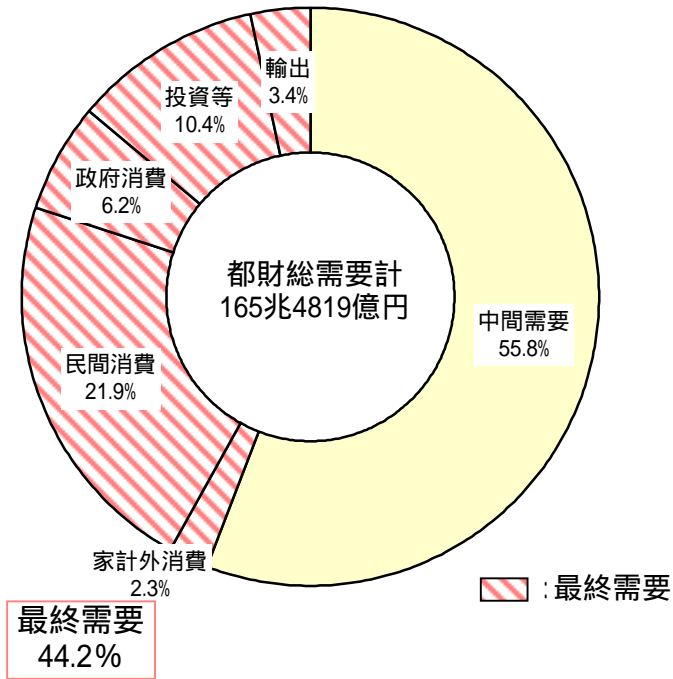


図3 - 2 需要項目別構成比(全国)

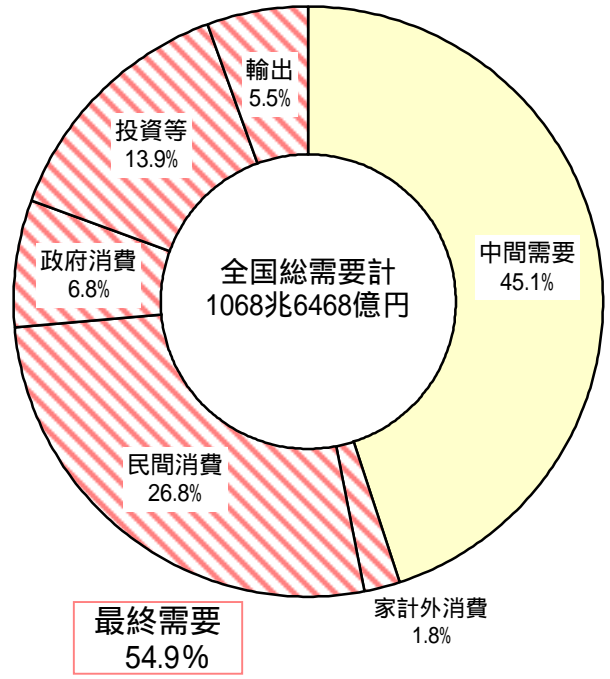


図3 - 3 投入比率(東京都)

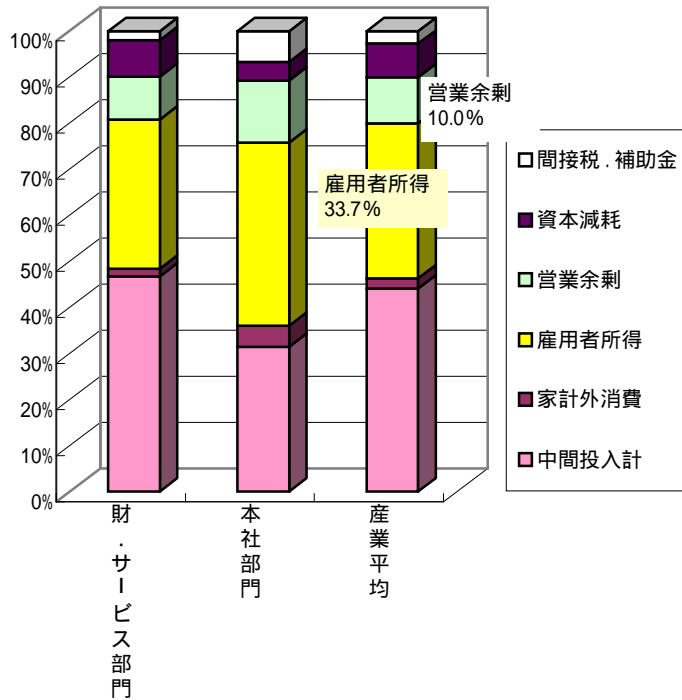


図3 - 4 投入比率(全国)

